

報道関係のみなさまへ

一般社団法人日本ゴールボール協会

東京 2020 パラリンピック競技大会におけるゴールボール競技日本代表推薦選手について

一般社団法人日本ゴールボール協会（会長：梶本美智子、東京都足立区）は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会に、東京 2020 パラリンピック競技大会日本代表候補選手として下記に記載する選手を推薦いたします。

1. 男子推薦候補選手







<p>田口侑治 TAGUCHI Yuji 所属： リーフラス株式会社 ポジション：センター 強化ランク：A クラス：B2</p> 	<p>宮食行次 MIYAJIKI Koji 所属： 株式会社サイバー エージェントウィル ポジション：レフト 強化ランク：A クラス：B3</p> 	<p>佐野優人 SANO Yuto 所属： 順天堂大学 ポジション：ライト 強化ランク：A クラス：B3</p> 
<p>山口凌河 YAMAGUCHI Ryoga 所属： 関彰商事株式会社 ポジション：ライト 強化ランク：B クラス：B1</p> 	<p>金子和也 KANEKO Kazuya 所属： 株式会社サイバー エージェントウィル ポジション：レフト 強化ランク：B クラス：B3</p> 	<p>川嶋悠太 KAWASHIMA Yuta 所属： アシックス ジャパン株式会社 ポジション：センター ランク：B クラス：B2</p> 

■ 選考に関して

東京 2020 パラリンピック競技大会のゴールボール代表候補選手として信澤選手と入れ替えて推挙することになった選手は、ジャパンパラ競技大会で技能的に優れていた川嶋選手です。田口選手と同じセンタープレイヤーとして日本チームのディフェンスの要として選出しました。

東京 2020 パラリンピック競技大会が延期になったことにより、チーム内での能力・技能も大きく変化したことから、戦術のバランスを勘案し、上記 6 名の選手を推挙することに至りました。

2. 女子推薦候補選手

<p>天摩由貴 TEMMA Yuki 所属： 株式会社マイテック ポジション：ライト ランク：A クラス：B1</p> 	<p>欠端瑛子 KAKEHATA Eiko 所属： セガサミーホールディングス 株式会社 ポジション：レフト ランク：A クラス：B2</p> 	<p>高橋利恵子 TAKAHASHI Rieko 所属： 筑波大学 ポジション：センター ランク：A クラス：B1</p> 
<p>若杉遥 WAKASUGI Haruka 所属： ALSOK ポジション：レフト ランク：B クラス：B1</p> 	<p>浦田理恵 URATA Rie 所属： 総合メディカル 株式会社 ポジション：センター ランク：B クラス：B1</p> 	<p>萩原紀佳 HAGIWARA Norika 所属： 国立障害者リハビリ テーションセンター ポジション：ライト ランク：B クラス：B3</p> 



■ 選考に関して

東京 2020 パラリンピック競技大会が延期になった時点で、内定は維持しているが内定を見直す対象選手として、浦田選手、小宮選手、高橋選手の 3 名を認定しました。延期後 1 年をかけて、技量、体力、チームのパワーバランスを鑑みて判断した結果、日本の短所である攻撃力を向上させるため、チームトップレベルの攻撃力を有する萩原選手を内定としました。

■女子選手選考に関する追加事項

尚、女子については、ターゲット選手を設け、安室早姫選手、小宮正江選手をチームに帯同させながら引き続き強化を行います。

ターゲット選手

<p>安室早姫 AMURO Saki 所属： 株式会社 SMBC 信託銀行 ポジション：ライト ランク：B クラス：B1</p> 	<p>小宮正江 KOMIYA Masae 所属： 株式会社アソウ・ ヒューマニーセンター ポジション：ライト ランク：B クラス：B1</p> 
---	--

理由としては、萩原選手は、未だクラス分けステータスが未確定で、流動的である部分もあり、クラス分け判定によっては、同選手の推薦は難しくなり、改めてメンバーを再考する必要があります。その際、上記2名のいずれかを推薦候補選手として選出する必要があるためです。

主要な国際大会にエントリーするためには、国際クラス分けを受検し、有効なクラスとステータスと呼ばれる有効期間を保有していることが規定されています。萩原選手は、2021年までの有効期限がありクラス分けに関する資格を満たしていましたが、東京2020パラリンピック競技大会が延期になったことにより、同大会にエントリーする必要条件として、少なくとも2022年12月まで有効なクラス分けステータスが必要となりました。2021年3月にクラス分けを受検しましたが、後発性白内障の影響により、視力が安定しなかったことから東京2020大会参加に有効な期限となる2022年までのステータスを付与されませんでした。4月に後発性白内障の手術を受け、視力の安定を図り再度クラス分けを受検できるように現在調整中です。



3. 推薦内定選手のコメント

(1) 男子

■ 田口侑治

日頃よりゴールボール代表チームを応援して下さっている皆様、誠にありがとうございます。

東京 2020 パラリンピック競技大会に向け、着実にチームと個人、共に前進しております。我々、男子チームは、今大会が初出場ではありますが、堂々と立ち向かい、歴史を変える覚悟しております。金メダル獲得に向け残り数ヶ月、どこの国よりも成長した姿を皆様に披露できるよう取り組んで参ります。

引き続き応援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

■ 宮食行次

この度は内定をいただき、ありがとうございます。

目標である“金メダル”のため、残された時間を最大限に活かして、周りが驚くような成長曲線を描けるように日々練習に励みます。“経過は己がために、結果は他がために。”この言葉を胸に、日頃支えていただいている方々に恩返し of 形として結果を出せるように頑張ります。

■ 佐野優人

この度は、東京 2020 パラリンピック競技大会の日本代表推薦内定をいただき、本当にありがとうございます。

日頃からの周囲の方々の暖かいサポートがあり、ここまで成長出来ました。

この感謝は、言葉で言い表せるものではなく、大会で金メダル獲得という結果で恩返しをします。大会までの残り日数悔いが残らないように練習に励んでいきます。

■ 山口凌河

東京 2020 パラリンピック競技大会の選手に選出していただきありがとうございます。とても身が引き締まる思いと責任を強く感じております。東京 2020 パラリンピック競技大会の延期が決定してから 1 年が経ち、正直これからどうなるのかと不安がありました。しかし、パラリンピック競技大会の大舞台で活躍するイメージだけを持ち、前向きに取り組んでいました。本番までの残りの期間も進化、成長し続け、個人としてもチームとしても強くなっていきます。多くの人の思いを胸に全身全霊で戦います。応援のほどよろしくお願い致します。



■ 金子和也

この度内定を頂き、日本ゴールボールチームを代表する選手として責任を重く感じています。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が 1 年延期となり様々なことがありましたが、多くの人の支えとご協力のおかげで開催できることを強く感謝しています。残り短い期間ではありますが、トレーニングを行いスキルアップし、全力で金メダル獲得を目指します。

■ 川嶋悠太

はじめに、内定をいただいたことに感謝いたします。

また、東京 2020 パラリンピック競技大会の開催に向けて、ご尽力をいただいております関係者の皆様にも感謝しています。

私は落選した立場、内定をいただいた立場を経験しているからこそ、責任感を強く感じています。

金メダル獲得を目標に掲げ、チームとして取り組んできました。

1 人 1 人が役割を果たし、チームジャパンで金メダルを獲得したいと思います。

そして、結果をもってスポンサー企業の皆様、所属先、家族、周囲の方々に恩返しができるよう頑張ります。また、このような状況で競技が続けられている幸せを感じながら頑張ります。

応援よろしく願いいたします。

(2) 女子

■ 天摩由貴

内定の発表を受け、パラリンピック競技大会に向けて、また一段階気持ちが高まりました。

新型コロナウイルスの影響で大変な状況が続く中、このように競技をさせていただけること、多くの方々のご尽力があって、今の私たちがあることへの感謝を忘れず、支えてくださる方々に金メダル獲得という結果をもってその感謝をお伝えしたいです。

男女チーム一丸となって世界の頂点を目指しますので、ご声援の程どうぞ宜しくお願いいたします。

■ 欠端瑛子

日頃から多くのご支援ありがとうございます。

チームとしても個人としてもパラリンピック競技大会までに成長し、最高のパフォーマンスが発揮できるよう練習していきます。

再び世界の頂点に立つために課題を乗り越え、チームで心をつなげて試合を楽しみ、笑顔で金メダルを取ります。

今後も応援よろしく願います。



■ 高橋利恵子

代表候補推薦選手に選出いただき、ありがとうございます。本番に向けて、少しでも課題を克服し、個人としてもチームとしても強くなっていけるように、残りの時間を大切にトレーニングに励んでいきます。

応援よろしく願いいたします。

■ 若杉遥

日頃よりご支援いただき、ありがとうございます。今回、代表候補推薦選手に選出していただき、ありがとうございます。

ゴールボールができることへの感謝と、代表選手としての自覚と責任を持ち、本番に向け、日々成長できるように引き続き精進して参ります。

今後ともよろしく願いいたします。

■ 浦田理恵

内定の通知を受け、身が引き締まる思いは一年前と変わりません。

コロナ禍において様々な制限があるなど、大変な中で競技活動を継続することができ、世界一を目指して挑戦ができること、また多方面からのご尽力に、とても感謝しています。チーム一丸となり、スポーツの力で元気と感動を金メダル獲得という形でお伝えしたいです。応援どうぞ宜しくお願いします。

■ 萩原紀佳

この度は東京 2020 パラリンピック競技大会の代表候補推薦選手の内定をいただき、誠にありがとうございます。

多くの皆様の支えがあり、ここまで来ることが出来て、とても嬉しく思います。

金メダル獲得という結果で皆様に恩返しができるよう、また自分の課題と向き合いながら残された時間を大切に過ごしていきます。

引続き、ご声援よろしく願いいたします。

【お問い合わせ先】

一般社団法人 日本ゴールボール協会

広報担当 増田 徹

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 4-22-10-103

E-mail :info_japangoalball@jgba.or.jp